



2023年5月22日

各 位

会 社 名 株式会社フジ
 コード番号 8278 プライム市場
 代表者名 代表取締役社長 尾崎 英雄
 問合せ先 常務取締役 統合推進本部長
 松川 健嗣
 (TEL 089-922-8112)

支配株主等に関する事項について

当社の親会社であるイオン株式会社について、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

記

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）またはその他の関係会社の商号等

(2023年2月28日現在)

名称	属性	議決権所有割合(%)			発行する株券が上場されている 金融商品取引所等
		直接 所有分	合算 対象分	計	
イオン株式会社	親会社	50.69	0.79	51.49	株式会社東京証券取引所 プライム市場

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社との関係

当社グループはイオン株式会社（純粋持株会社）及び、同社の連結子会社・持分法適用関連会社により構成する企業グループに属しております。イオン株式会社が、グループ戦略の立案、グループ経営資源の最適配分、経営理念・基本原則の浸透と統制、共通サービスの提供等を担い、グループシナジーの最大化を図る一方で、当社グループを含めたグループ各社は、専門性を高め、地域に密着した経営を行うことで、より一層のお客さま満足の向上を図っております。

当社グループの属する企業グループは、9兆円を超える売上規模を活かし、グループでの共同調達や効率的なサプライチェーンの構築に取り組み、コスト低減を進め、イオンのブランド「トップバリュ」の開発や、メーカーや国内外の産地との直取引を拡大し、お客さまにとって価値ある商品の開発と魅力的な価格の実現に努めております。

当社グループは、日常の事業運営にあたっては、独自の経営判断に基づき遂行しつつ、事業運営における重要な問題については、よりよい効果または結果を導き出すべく、イオン株式会社との協議、もしくはイオン株式会社への報告を行っております。イオン株式会社ならびにグループ企業とは、相互に自主・独自性を十分に尊重しつつ綿密な連携を保ちながら、持続的な成長、発展、業績の向上に努めております。

なお、2023年2月28日現在で、当社取締役9名、監査役4名のうち4名が親会社及びグループ企業で兼務しております。

役員の兼任状況

(2023年2月28日現在)

役職	氏名	親会社又は そのグループ企業での役職	就任理由
代表取締役 副社長	平尾 健一	イオン商品調達株式会社 非常勤取締役	企業経営に関する豊富な経験と幅広い見識が当社の企業価値の向上に資すると判断したため
非常勤 取締役	渡瀬ひろみ	株式会社カスミ 非常勤取締役	企業経営に関する豊富な経験と幅広い見識が当社の企業価値の向上に資すると判断したため
非常勤 監査役	西松 正人	イオン株式会社 顧問	グループ企業での多様な職務経験と幅広い見識が当社の監査機能の充実に資すると判断したため
非常勤 監査役	青木 謙城	イオン九州株式会社 非常勤監査役	グループ企業での多様な職務経験と幅広い見識が当社の監査機能の充実に資すると判断したため

3. 支配株主等との取引に関する事項

2023年3月期（2022年3月1日～2023年2月28日）

単位：百万円

種類	会社等の 名称	所在地	資本金	事業の 内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者 との関係	取引の 内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	イオン(株)	千葉県 千葉市	220,007	純粋 持株会社	(被所有) 直接 50.69%	株式交換	株式交換 (注)	90,448	—	—

(注) 株式交換については、マックスバリュ西日本(株)の完全子会社化を目的としたものであり、株式交換比率は、第三者機関の算定結果を参考に、当事者間での協議により決定しています。

4. 支配株主等との取引を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社が、イオン株式会社及びグループ各社と取引を行う場合には、「関連当事者取引管理規程」に則り、市場価格に基づいた適正な条件により取引を行い、年1回関連当事者取引先各社との年間取引実績の増減率等の報告を取締役会に行い、取引継続の合理性と取引条件の妥当性を確認します。また、重要な取引については、独立役員のみで構成する特別委員会において、当社の企業価値向上の観点から当該取引の公正性及び合理性が確保されていることを検証したうえで取締役会に付議し、また特別利害関係人を除外した上で決議し、手続の公正性を確保します。

以 上